

家畜衛生だより

令和5年5月発行

中央家畜保健衛生所
村山地域家畜畜産物衛生指導協会
〒990-2161 山形市漆山 736 番地
TEL 023-686-4410
FAX 023-686-5715

早めの暑熱対策を始めましょう！

長期予報によれば、今年の6月～7月気温は「平年並み」か「高い」ようです。豚は汗腺が未発達であることや、厚い皮下脂肪に覆われているため、暑さに弱い動物です。

そろそろ暑熱対策を始めましょう！！

【畜舎環境】

①樹木（緑のカーテン）や遮光ネットによる直射日光の遮断



ネットに植物を這わせる（兵庫県）



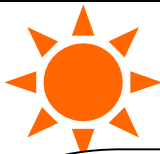
緑のカーテンをすると外と豚舎内の温度差は **7℃** にもなるそうです。

（例）ヘチマ・ゴーヤ・朝顔など

②屋根への散水やドロマイト石灰*塗布による畜舎内温度の上昇防止



屋根への石灰の吹きつけ（宮崎県）



屋根への石灰塗布（宮崎県）

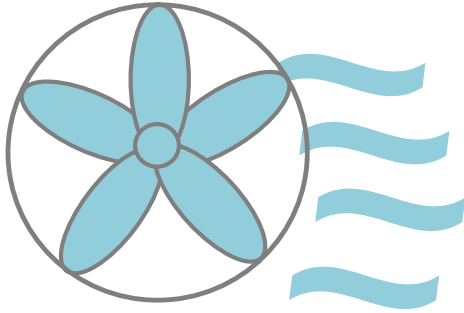
○屋根裏温度 約15℃低下

○牛舎内温度 **約5℃低下**

*ドロマイト石灰

：溶解熱がなく粘着性に優れる。
畜舎消毒、暑熱対策等に使用。

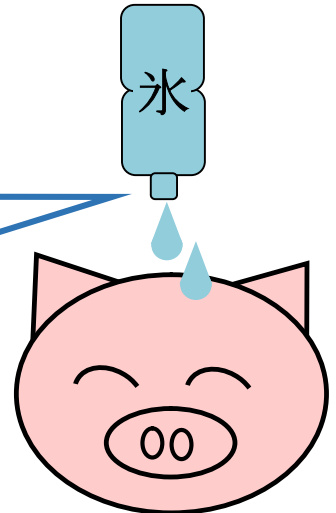
③送風機具(扇風機・換気扇・送風ダクト)による体感温度低下



★種豚舎は涼しく！

★哺乳豚には直接風を当てない！

ペットボトルに水を入れて凍結、
母豚の首元に滴下
⇒体感温度が低下



【飼養管理】

①密飼いを避ける⇒体感温度低下とストレス減少

②豚の移動や交配は早朝や夕方の比較的涼しい時間帯に！

③飼料給与等の工夫

- ・冷たい水が十分に飲めるように！給水器のこまめな点検
- ・飼料給与は涼しい時間帯に！
- ・消化のよい飼料や、状況に応じたビタミン、ミネラルの給与

<熱射病の症状>

- 元気消失
- 体温上昇
- 開口呼吸、呼吸速拍
- 大量のよだれ
- 受胎率低下
- 流産

**「早期の暑熱対策」と「症状の早期発見」で
大切な豚を熱射病から守りましょう！！**

飼養豚に異状が認められたら家畜保健衛生所まで

速やかにご連絡ください。

中央家畜保健衛生所（24時間対応）

023-686-4410